

医療法人財団 織本病院 広報誌



5

2019年5月1日 vol.297

発行 医療法人財団 織本病院
 印刷 〒204-0002
 東京都清瀬市旭が丘 1-261
 TEL 042-491-2121
 URL <http://www.orimoto.or.jp/>
 発行人 高木 由利



セルバヒエンソウ

“患者さんと共に作り、共に食し、 共に喜ぶ”を胸に抱き...



理事長 高木 由利

私の通勤路の街路樹はハナミズキです。初めてハナミズキを見たのはニューヨークに住んでいた時、アパートの3階の窓から見た姿でした。天に向かって両手を広げているようなハナミズキは、私に何度も勇気を与えてくれました。

* * *

4月19日（金）は多摩CKD超低たんぱく食治療研究会の第2回調理実習会でした。今回もたんぱくゼロの治療用特殊食品である“でんぷん製品”をフルに使ったおいしいメニューでした。おいしいお料理を作るのは、誰にとっても楽しいことだと思います。特に出席された男性の先生方にとっては非日常の行為であり、日頃の仕事から解放され、ひたすらおいしい腎不全食作りに専念できる楽しい時間だったと感じました。そうです！お料理することはとても楽しい時間なのです。治療食を作らなければならないと考え、眉間にしわを寄せ、ため息をつきながら行うことではないと思ったのです。だからこそ、患者さんに指導する以前に、腎不全医療に携わる医療従事者一人ひとりが正しい医学的理論の上に立った超低たんぱく食事療法を

熟知し、そして自由自在に調理できる技術を身に付け、更においしさを知っていれば、必ず患者さん達の心に届く最高の治療ができるはずです。

私は腎不全の食事療法を始めて20年近く経ちますが、何度となく奥義に触れることがありました。この治療は奥が深く、人の私生活そのものに関わることで、指導する側が常に謙虚な心を持ち、患者さんが何を悩み、何につまづき、また何を喜んでいるのかを共に考え続けることが絶対に必要だと考えています。

実は数年前から私の家のキッチンには治療用特殊食品、つまりでんぷん製品がたくさん備蓄されています。私が毎日食べる食事にも必ずでんぷん製品が登場しています。そして、私のデザートは90%以上でんぷん製品によるものなのです。使えば使うほど食材の性質がわかり、思わぬ発見に心躍ることも多々あります。

私達のテーマ、“患者さんと共に作り、共に食し、共に喜ぶ”ことは他でもない私自身の喜びなのかもしれません。

多摩CKD
超低たんぱく食
治療研究会

第2回

調理実習特集



医療法人社団 心施会
府中腎クリニック
管理栄養士
福島 由香里 さん

多摩CKD超低たんぱく食治療研究会 調理実習に 参加して栄養指導が変わりました！

昨年第1回目にスタッフとして参加させて頂きました。実際に作って、味わって、理解する食事療法の楽しみを体験し、その後の私の栄養指導は実践を伴う指導に変貌していきました。机上の学習も大切ですが、体験する学習は「百聞は一見に如かず」、患者さんの意欲が引き出されます。

今回も新しいメニューを紹介して頂きましたので、クリニックの患者さんと共に低たんぱく食をおいしく食べて、療養生活を楽しめるよう指導していきたいと思います。



4月19日（金）、第2回目となる多摩CKD超低たんぱく食治療研究会の調理実習が開催されました。昨年と同じく、でんぷん製品の正しい調理法、利点、美味しさ、楽しさを知って頂くことを目的とし、今回も医師、管理栄養士、看護師、薬剤師、臨床工学技士など様々な職種、そして栄養士の学生さんや出版社の方などたくさんの方々がご参加下さいました。

今回のメニューは、でんぷん米のルネリッソを使った『豚ねぎ炊き込み風ご飯』と、でんぷん楽らくうどんを使った『丸の内ピリ辛うどん』でした。私は初めての参加で直前まで緊張していたのですが、いざ始まってみるととても楽しく、他施設の方々とでんぷん製品について語り合うことができ、とても幸せであったという間の時間でした。

参加者の方からでんぷん製品についての様々な質問を頂いたり、また先生方の無邪気な笑い声、学生の真剣な眼差し、笑顔あり活気あり熱気のこもった実習でした。共に作り、笑い、味わい、楽しみ、他職種間、年齢差の垣根を越え、でんぷん製品の美味しい食べ方・調理法と一緒に学べる貴重な経験で、私自身もとても良い刺激を頂くことができました。

でんぷん製品を活用した超低たんぱくの腎不全食事療法を普及させるためにも、このような場で、食事療法やでんぷん製品への理解度を更に高めて頂き、医療関係者の方々や患者さんに伝え広めて下さる方が1人でも増えることを目指しています。また、私自身も、今後他施設との連携を更に強化し、超低たんぱくの正しい食事療法、そしてでんぷん製品の普及に少しでも貢献できるよう、精一杯精進していきたいと思います。



管理栄養士
岡本 啓吾

Profile

doctor-introduction

Dr. 紹介

略歴：順天堂大学医学部卒業（平成元年）
 順天堂大学 医学部附属 順天堂医院（内科研修医）
 順天堂大学 消化器内科 入局
 癌研究会附属 癌研病院 内科
 順天堂大学附属 順天堂医院 消化器内科 助手
 山中胃腸科病院（三重県）
 中野胃腸病院（愛知県）
 順天堂大学附属 浦安病院 消化器内科 准教授
 三鷹中央病院 内科

所属学会：日本内科学会 日本消化器病学会 日本胆道学会
 日本脾臓学会 日本消化器内視鏡学会 認知症治療研究会

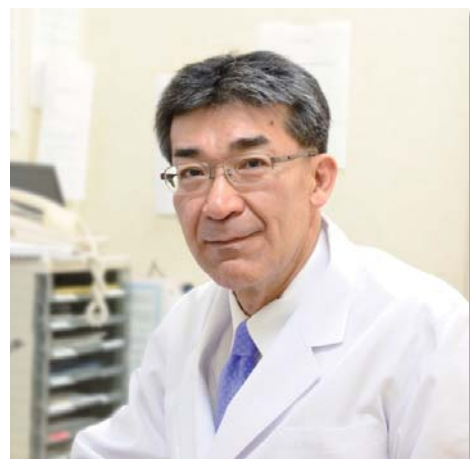
趣味・特技

サッカー
 音楽鑑賞
 (パッパ・合唱)
 囲碁

消化器内科

山中 晃一郎

やま なか こう いち ろう



Message

5月より織本病院に入職いたしました山中晃一郎と申します。消化器内科で特に消化器画像診断、内視鏡的治療を専門にしておりますが、広く内科的疾患にわたり診療させていただきます。

母の認知症を機にコウノメソッドという治療体系に出会い、認知症治療にも携わっております。ご本人の笑顔とご家族が少しでも楽になるように日々研鑽しております。また、漢方医学や食事、栄養療法などにも興味を持ち取り組んでいます。聖書の中に「旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました。」という一節があります。皆様の御健康のために少しでもお役に立てるように診療いたします。何でもご相談下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

泌尿器科／人工透析科

玉城 吉得

たま しろ よし とく



趣味・特技

散歩
 バイク

略歴：琉球大学医学部卒業（平成9年）

東京大学医学部付属病院 泌尿器科
 青梅市立総合病院 泌尿器科
 焼津市立総合病院 泌尿器科・血液浄化療法室
 三井記念病院 泌尿器科
 セコメディック病院 泌尿器科・血液浄化センター
 玄々堂君津病院 泌尿器科・総合腎臓病センター
 保谷厚生病院 泌尿器・人工透析科 部長
 高島平中央総合病院 泌尿器科・血液浄化センター
 ～ 他、民間病院

所属学会：日本泌尿器科学会 専門医・指導医 日本透析医学会 専門医・指導医
 日本腹膜透析医学会 日本アクセス研究会 日本泌尿器内視鏡学会

Profile

Message

2019年5月より織本病院人工透析センターへ赴任しました玉城です。慢性腎臓病患者さんは合併症や社会的問題を抱えている方が多く、ご家族も交えた“チーム医療”でじっくり診療に当たりたいと思っています。

息子が日本社会事業大学付属子ども学園に3年程お世話になりました。その間には中清戸に住んでおりましたが、清瀬の文化に触れる事もないままに卒園を期に転居。今回は清瀬への縁を感じつつ、清瀬の名所・グルメ探索も楽しみにしております。おすすめの情報がありましたら、宜しくお願い致します。



HIROSHI Minawa
Guitar vocal

HIGEMORI Ota
Entertainer

YUJI Kikuchi
Guitar vocal

RYO Kimura
Vocal

TAKAKI Inatemi
Drum

第12回 ザ・ショクインズ

春うらら コンサート

2019
5.11土

PROGRAM

シクラメンのかほり (布施 明/小椋 佳)

空に太陽がある限り (にしきの あきら)

桜坂 (福山 雅治)

夢の中へ (井上 陽水)

さよならの向こう側 (山口 百恵)

他

CAST

ギターボーカル	箕輪 比呂志	ベース	秋山 弘行
ギターボーカル	菊池 雄二	エンターテイナー	太田 英憲
ドラム	稲富 貴己	ボーカル	木村 亮

2019年 5月11日(土) 開場 15:00 開演 15:30

【会場】 織本病院 2Fロビー 入場無料/予約不要

【お問合せ】 医療法人財団 織本病院

☎042-491-2121

第210回 腎疾患・糖尿病ゼミナール

三輪 俊博 先生の特別講演会



講師：腎臓専門医・糖尿病専門医
三輪 俊博 先生

栄養科からのワンポイントアドバイス

“でんぷん麺でサラダそば”

※ 5月の腎疾患・糖尿病ゼミナールはお休みです。

2019年 6月6日(木)

午後1:00～2:00

オリモトホール(織本病院 4F)

予約不要・参加費無料

管理栄養士：小澤 牧子